



2023年5月31日

各位

会社名 ワイエシイホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 百瀬 武文  
(コード番号 6298 東証プライム)  
問合せ先 取締役管理統括本部長 畠山 督  
(TEL. 042-546-1161)

### 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月24日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」(以下「計画書」)を提出し、その内容について開示しております。2023年3月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社は、移行基準日(2021年6月30日)においてプライム市場の上場維持基準のうち、「流通株式時価総額」について基準を満たしておりませんでした。2023年3月31日(基準日)時点において、プライム市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め、下表のとおりとなっており、全ての基準において適合しております。

	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	売買代金
プライム市場 上場維持基準	20,000 単位 以上	100 億円以上	35%以上	1 日平均 売買代金 0.2 億円以上
2021 年 6 月 30 日 時点 (移行基準日)	72,835 単位	75 億円	74.6%	305 億円
(※1、2) 判定	適合	不適合	適合	適合
2023 年 3 月 31 日 時点 (今回判定基準日)	68,504 単位	152 億円	70.1%	471 億円 (※4)
(※1、3) 判定	適合	適合	適合	適合

※1 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに審査した結果であります。なお、移行基準日時点と今回基準日時点では、流通株式数が大きく減少していますが、「役員等の所有株式数」の算出方法に変更があったためであります。

※2 記載の数値は、2021年7月9日付「新市場区分における上場維持基準の適合状況に関する一次判定結果について」により東京証券取引所より通知されたものであります。

※3 記載の数値は、2023年5月24日付「上場維持基準(分布基準)への適合状況について」により

東京証券取引所より通知されたものであります。(売買代金を除きます。)

※4 東京証券取引所が公表している「株式相場表」に掲載の売買代金より、2022年1月～12月の1日平均売買代金を当社にて算出したものであります。

## 2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価 (2022年4月～2024年3月)

### 【基本方針 (2021年12月24日適時開示)】

中期経営計画 (2022年3月期～2024年3月期) に基づき、セグメント毎の課題克服及び伸張を基軸として目標を達成するとともに、投資家の皆様等に対する情報開示の充実、SDGs に対する積極的な取組、コーポレート・ガバナンスの更なる充実、一層の株主還元を目指した配当政策等により、企業価値を継続的に向上させることにより株価の上昇を図り、「流通株式時価総額」のプライム市場における上場維持基準への適合を目指してまいります。

また、東京証券取引所の一次判定結果における当社の「流通株式比率」は、プライム市場の上場維持基準を十分満たしておりますが、流通株式比率の向上に取組むことにより企業価値を向上させ、プライム市場の上場維持基準への適合を目指してまいります。

### (1) 企業価値向上 (時価総額向上) に向けた取組

#### ① 中期経営計画 (2022年3月期～2024年3月期) を達成することによる業績向上

今期は中計の最終年度かつ弊社の50周年という節目の年でもあり、開示目標を達成すべく尽力してまいります。(詳しくは、2023年5月11日開示の「2023年3月期 決算短信」および5月22日開示の「2023年3月期 通期 決算説明会資料」をご覧ください。)

#### ② 情報開示の充実 (多様な投資家の皆様に対する適時かつ的確で理解しやすいIRの提供)

- ・決算開示に対しては、従前の本決算・中間決算説明会の他、第1・第3四半期の決算説明資料の提供を行っております。
- ・海外の投資家の皆様に向けた英文開示を実施しております。
- ・機関投資家の皆様に対する個別ミーティングは、現時点 (含む未実施分) で過去最高となっております。
- ・適時開示以外にも、PR情報の開示も積極的に取組み、当社の新製品の公表や進捗状況に関する充実を図っております。

#### ③ SDGs に対する積極的な取組 (ESGを起点としたサステナビリティ経営の実践)

- ・SDGs に関わる新製品の開発につきましては、一層積極化してまいります。

#### ④ コーポレート・ガバナンスの充実

引き続きコーポレート・ガバナンスの更なる充実を図ってまいります。

#### ⑤ 配当政策

配当性向30%を目安とした安定的な配当政策を実施しております。

### (2) 流通株式比率向上に向けた取組

現状、「プライム市場」の上場維持基準を十分満たしておりますが、更なる流通株式比率向上のための施策を検討してまいります。

以 上